

「ひとり親特例」 彩の会に初適用

沖縄公庫が貧困対策支援



沖縄振興開発金融公庫（譜久山賞則理事長）は7日、本年度から新設した「沖縄ひとり親雇用等促進貸付利率特例

制度（ひとり親雇用等特例）でやびく産婦人科・小児科（北谷町）を経営する医療法人彩の会に初適用すると発表した。融資額と金利は非公表。同特例は、子どもの貧困対策の総合的な推進を目的とし



た沖縄公庫独自の制度。「ひとり親家庭の就労支援」、「正規雇用者の処遇改善および保育サービスの利用促進によ

「ひとり親雇用等特例」の初適用と融資を受けた彩の会の屋比久里美理事（左から2人目）は7日、那覇市・沖縄振興開発金融公庫

「子育て支援」に関する融資金利を軽減する。

彩の会は事業所内保育所「チャチャ保育園」を4月に開設。融資は施設整備費の一部に充てる。

彩の会の屋比久里美理事は「もっと多くの事業所が制度を利用して、待機児童解消に役立ててほしい」と話した。

産科内保育園に融資

北谷

公庫ひとり親支援制度初

沖縄振興開発金融公庫（譜久山常則理事長）は7日までに、本年度に新設された沖縄ひとり親雇用等促進貸付利率特例制度（ひとり親雇用等特例）を通じて、北谷町砂辺で「やびく産婦人科・小児科」を運営する医療法人彩の会に事業所内保育施設設置のための融資を実行した。ひとり親雇用等特例制度の適用は県内初。低金利で融資を行うことで、県内企業による積極的な就労支援や、非正規から正規への就労環境改善を促す考え。

北谷町砂辺の「やびく産婦人科・小児科」内に設置された認可保育園「チャチャ保育園」



彩の会は今年4月、施設内に認可保育園「チャチャ保育園」を開設した。現在、16人の園児を地域から受け入れている。7日、沖縄公庫で会見したやびく産婦人科・小児科の屋比久里美経営管理部長は「まだまだ北谷町は待機児童がいる。今後、施設の拡充を検討するとともに働きやすい職場づくりを進めたい」と話した。チャチャ保育園は「地域型保育」に分類さ



れ、ひとり親世帯に関係なく、利用するには北谷町から利用認定を受ける必要がある。本年度から始まったひとり親雇用等特例制度は、沖縄における子どもの貧困対策を総合的に推進するため、「ひとり親家庭の就労

認可保育園「チャチャ保育園」を病院内に設置したやびく産婦人科・小児科の屋比久里美経営管理部長（左から2人目）と新里仁事務長（左端）7日、沖縄振興開発金融公庫支援」や「非正規雇用者の処遇改善および保育サービスの利用促進による子育て支援」に取り組む企業を対象にしている。金利負担を軽減する特例制度で、全国にはない沖縄独自の制度になっている。